

ルさんは、一週間の滞在中、「四季」公演ミュージカルの「アン」役、久野綾希子さんと会って、大喜びだった。



公演初日には、マクニールさんのほか、「赤毛のアン」ミュージカルの音楽を作曲したノーマン・キャンベルさん、共同で歌詞を担当した夫人のエレーヌさんも出席した。

京都で日加経済人会議

日本とカナダの経済界代表が民間レベルで意見を交換する日加経済人会議（第三回）が、五月十二日から十四日まで、京都国際会館で開かれた。

会議には、日本側から横田・日加経済人会議日本委員会会長（日本鋼管社長）、田島敏弘・日本興業銀行常務取締役、両角良彦・電源開発総裁、高島節男・三井金属鉱業社長、辻良雄・日商岩井相談役、松尾昂一・トヨタ自動車工業常任監査役、カナダ側からはカルバー・日加経済人会議カナダ委員会会長（アルキャン・アルミニウム社長）、ガーディナー・ロイヤル・バンク

・オブ・カナダ副会長、ハート・カナダ国有鉄道副社長、ボビー・ノーセン・エナジー・リソーシズ会長、ブラック・サイブラス・アンビル鉱山社長、ハリソン・ブリティッシュ・コロンビア・パッカーズ副会長、ニウオール・ドウボン・カナダ社長らが出席した。また、来賓として、河本敏夫・日加議員連盟会長とランキン駐日大使が挨拶した。

サスカチュワン州に世界最長の光ファイバー網

サスカチュワン州の州営電話公社サスカチュワン・テレコムユニケーションズは、今秋、世界最長の光ファイバー網を敷設するプロジェクト（総経費五千六百万ドル）に着手することになった。これは、音声、データ、ビデオのシグナルを伝達する多目的広周波網で、三千二百キロメートルにわたって州内五十以上の都市を結ぶことになっている。完成予定は四年後。サスカチュワン・テレコムユニケーションズでは、プロジェクトの第一歩として、このほどノーザン・テレコム社（本社モントリオール）に光ファイバーおよび関連機材を発注した。

光ファイバー（ファイバー・オプティックス）は、直径〇・一ミリ程度のガラス繊維の中を通るレーザー光線で、テレビ、電話、データなどの伝達に使われる。通常の電線やケーブル・システムと比

べ、何倍もの情報を送ることができるといわれる。

日清製油の坂口会長 カナダ菜種協会の名譽会員に

カナダ菜種協会は、三月にトロントで開かれた年次総会で日清製油の坂口幸雄会長を終身名譽会員に選んだ。名譽会員としては五人目、外国人としては初めてである。またカナダ政府を代表して、ヘッバー運輸大臣からトルドー首相署名入りの表彰状が授与された。

カナダから日本への菜種輸出は現在、年間およそ百万トン、金額にして約一億カナダドルに上るが、坂口氏はカナダの菜種産業の育成発展に大きく貢献したとして、菜種協会およびカナダ政府が功績を讃えたもの。

次期戦闘機にCF-18A カナダ政府が決定

カナダ政府は、次期戦闘機に米国防務省のCF-18A型戦闘機を採用することを決定した。新戦闘機は、北米大陸防空軍司令部（NORAD）で使用されているCF-101ブードウ迎撃機、北大西洋条約機構（NATO）で就役しているCF-104スター・ファイター、NATOで就役することになっているCF-5戦闘機に代わるもので、一九八二年から八九年までに一三七機を購入することになっている。契約価格は二

億七千万ドル。

次期戦闘機にCF-18A型機を選んだことについて、カナダ政府当局は、「北米、NATO北部、および中央ヨーロッパという地理的、戦略的にも多様な地域および状況下で現在三種の飛行機が行なっているさまざまな役割を担う多目的戦闘機」という選択条件に合致している、と説明している。

またグレイ通産大臣によると、CF-18A型機の購入によって、航空宇宙産業、電子機器産業を中心にカナダで二九億ドル余の経済活動が生じることになるとい

日加議員連盟 新会長に河本氏

衆参両院の有志の議員で作っている日加議員連盟では、四月、前尾繁三郎会長の任期切れにもと



ランキン大使と談笑する河本氏。

ない、河本敏夫氏を新会長に選出した。会長に就任した河本氏は、「日本とカナダは、太平洋を隔てた隣国の関係にあるという地理的条件のみならず、政治経済ならびに文

化等の分野においても非常に大切な関係にある。今後は、政治経済の面のみならず、いろいろな面で両国の関係を深めていかねばならないという大きな課題があるものと思う。日加議員連盟としても、これらの問題に積極的に取り組み、両国間の友好と理解を深めていきたい」と、その抱負を語っている。

訂正

●過日発行された「日加修交五〇周年記念論文集」に次のような間違いがありました。お詫びして訂正します。

一五ページ 「84 東洋英和女学院……云々」を「英洋英和女学院がカナダ・メソジスト教会（現在のカナダ合同教会）のカートメル女史によって創設」に（広報紙「カナダ」第23号にも同じ間違いあり）

一八ページ 「村田花子」を村岡花子」に。
四七ページ 「ごく小さなカナダなのかも……」の脱字は「知らない」。

●また「背景説明レポートNo.14 アルバタ州」の中で、州都がカルガリーとなっているのは、もちろんエドモントンの間違いです。人口は五七三、七〇〇人（一九七七年）。